



# 公益社団法人企業情報化協会 (IT協会) 2022年度第2回会員交流会

参加費無料

## サステナビリティとIT/デジタル活用による貢献とは ～脱炭素・GX (グリーントランスフォーメーション) の推進とIT・DX部門の役割～

2022年9月27日 (火)  
14:30～17:00

(17:00から情報交換会)

ハイブリッド開催

参加対象

- ・IT・情報システム推進部門責任者および管理責任者
- ・DX推進部門責任者および管理責任者
- ・サステナビリティ・ESG推進部門責任者および管理責任者

会場(会員限定)：ザ・プリンスパークタワー東京 B1階「はなみずき」  
オンライン(会員・一般)：Zoom

### 14:30～14:40 主催者挨拶

公益社団法人企業情報化協会 専務理事 百瀬 博

開催にあたって

サステナビリティ社会実現に向けての取組は、現代社会の最大の課題ともいわれています。政府は2050年カーボンニュートラル脱炭素社会の実現を打ち出し、トレーサビリティ、再生可能エネルギーの効率的な活用等、産業界においてその対応が必須となっております。こうした情勢は企業のIT部門・デジタル推進部門におきましても今後、重要なミッションとなると考えられます。そこで小会では、サステナビリティ推進に向けて、IT・デジタル技術の活用や適用により、どのような支援・貢献が可能となるかを考える場を設けることといたしました。本テーマに関心をお持ちの皆様のご参加をお願いいたします。

### 14:40～15:10 課題提起

「サステナビリティの捉え方  
～サステナビリティ実現のための武器はデジタル!～」

公益社団法人企業情報化協会 特別顧問  
三菱マテリアル株式会社 取締役  
サステナビリティ委員会委員長 五十嵐 弘司



### 15:10～15:50 事例研究

「日立グループのサステナビリティへの取組み  
～ グリーン戦略を中心に ～」

株式会社日立製作所  
サステナビリティ推進本部副本部長 高橋 和範氏

当社は4月に発表した2024年度までの中期経営計画にてグリーン、デジタル、イノベーションによる成長をめざし、サステナブル経営を深化する方針を掲げました。また6月にはグリーン戦略を発表しています。この2つの発表内容を概説し、更にグリーンに関する具体的な取り組み内容をご紹介します。



### 16:00～16:40 事例研究

「脱炭素DX最前線  
～デジタルツインとAIで実現する  
「CO2排出量削減と生産コスト効率化」～」

株式会社グリッド 代表取締役  
曾我部 完氏

脱炭素化での取り組みの多くは過去実績のレポート化や可視化にとどまっておき、本質的な解決には至っていないケースがありますが、デジタルツインとAI技術を活用することで、見える化の先の具体的な実行策を立案することが可能です。本講演では、ReNomGXを活用した「CO2削減」+「コスト削減」と、その導入方法とビジネスインパクトについてご紹介します。



### 16:40～17:00 ワークショップ

意見交換会(質疑応答)モデレータ:五十嵐弘司(IT協会 特別顧問)

### 17:00～18:00 情報交換会



公益社団法人企業情報化協会

<http://www.jiit.or.jp/>